

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



正 小野崎まさき県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



県の施策を質問する小野崎正喜県議

12月定例県議会一般質問

「未来をまもる。未来をつくる」をスローガンに、ふるさとの発展に力を注いでいる小野崎正喜県議(山武市・山武郡選出、3期)は12月定例県議会で登壇し、熊谷知事らに県の施策を尋ねました。新型コロナの影響で成田空港の従業員が減少している問題を取り上げた小野崎県議は、人材の確保と育成を提言、また、全国2位の農業県を目指すにあたって、園芸品目の産出額の増大と農家の所得向上に向けた取り組みを質問しました。小野崎県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

小野崎議員 2023年2月に調査した成田空港内従業員実態調査結果では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業者数、従業員数は2017年比で約7000人と大きく減少しており、航空需要が回復基調となっている今、今後の人材の確保に懸念と危機感を抱かざを得ない。

そこでうかがうが、成田空港関連企業で働く人材の確保に向け、県はどのように取り組みしているのか。

総合企画部長 航空・空港業界においては、現在でも人手不足が顕在化しております。人材を確保するために多くの人々に、就業先としての成田空港の魅力を知つてもらうことが重要と考えています。

このため、県では、空港

新型コロナで従業員減少

成田空港で働く 人材の確保重要

会社や航空関連企業と連携しながら、合同企業説明会の開催などの就労促進や、空港を身近に感じ、就業先としての意識を醸成するキャリア教育などに取り組んでいます。また、県や経済団体等が参画している成田空港活用協議会においては、高校生が、空港の仕事の体験や見学会ができる体験型航空教室を先月開催し、145人に参加していただきました。様々な取り組みを行っているところ

小野崎議員 航空・

空港周辺地域の防音工事助成金の交付決定低調

設計業者の不足で

要望 空港業界においても人材の確保が重要な課題となっている現状から、引き続き関係機関と連携を図りながらと人材の確保に取り組んでいただきたい。

また、県には航空・空港業界関係の就業率を高めるために、人材の育成にも取り組んでいただきたい。以前より、成田空港関係の更なる機能強化に伴い、空港周辺地域における騒音対策の進捗状況はどうか。総合企画部長 成田空港の更なる機能強化に伴い、空港会社が行う防音工事の対象戸数は約6000戸であり、本年10月末までに約半数から助成金の申請があったものの、交付決定は、約900戸に留まっています。また、共生財團が行う内窓設置工事の交付決定も対象戸数6000戸のうち、約600戸に留まっています。

小野崎議員 県と港会社に対し、工事の進捗が加速するよう、更なる対策の実施を強く求めてまいります。これまで、専門校の誘致や県内の公立高校・大学などにご協力いただき、航空・空港分野に特化した学科やコースの創設など、専門技術の習得に向けた取り組みを組んでいただきたい。

そこで、関係者と協議をいただき、県には航空・空港業界関係の就業率を高めるために、人材の育成にも取り組んでいただきたい。また、県には航空・空港業界関係の就業率を高めるために、人材の育成にも取り組んでいただきたい。

これまで、専門校の誘致や県内の公立高校・大学などにご協力いただき、航空・空港分野に特化した学科やコースの創設など、専門技術の習得に向けた取り組みを組んでいただきたい。

再質問

小野崎議員 県と港会社に対し、工事の進捗が加速するよう、更なる対策が必要となります。

迅速化、空港に要望

小野崎議員 県と港会社に対し、工事の進捗が加速するよう、更なる対策が必要となります。

そこで、関係者と協議をいただき、県には航空・空港業界関係の就業率を高めるために、人材の育成にも取り組んでいただきたい。

